



郡上長良川ロータリークラブ

ホルガー・クナーCR1会長

クラブテーマ **結** (ゆい)

会長：畑中知昭 副会長：山下 誠 幹事：松森正和

第2012回 令和2年11月4日(水)

本日の行事 クラブフォーラム (地区補助金)

2020-21年度 畑中知昭会長
幹事報告 松森正和幹事

- * 関中央RCより 事務所移転のお知らせ
11月9日より 関市下有知1655-1 山田ビル1階D室
- * 前ガバナー事務所より 事務所閉鎖のお知らせ 11月末まで

- * ガバナー事務所より月信11月号HP掲載
- * 地区事務所より次年度補助金募集についてセミナー動画を見ていただき、確認アンケートとMOUを地区事務所まで送付
- * 例会変更 関中央、美濃加茂、関RC
- * 週報拝受 美濃RC

第2011回例会

会長挨拶

2020-21年度 畑中知昭会長

普段私の仕事というのは、外へ出ての打ち合わせが多いのですが、今日は外の方がうちの会社にくる人が多い日でした。その中で10時から見た方は岐阜県の中農の事務所から見た人で、内容はコロナの中で岐阜県の中でもそれぞれの地域の状況がどういうふうか聞き取りに見えるという事で、郡上の中で10社回られるという事で2人の方がみえました。

先週、大和の商工会支部の会議がありましたので、その会議には色々な業種の方が見えますので聞き取りを行い、説明をしました。

その中でも前から私の方で思っていたことですが、私のような仕事の場合は、資金需要を言うと、資金をストックしておいて、それを順番に工事をやらせていただく中で放出をして、お金をいただくという商売で、資金ストックの商売なわけですが、それと真反対に見えるのは、飲食店の方々だと思います。飲食店の方々も資金をストックしておくというよりは毎日現金で頂いて、その現金を回しているという事の特性の違いも説明をさせていただきました。もう一つは郡上に限った特性でいけば、冬になればスキーの観光需要が始まっていきますが、スキーの需要において、今までは雪が降る降らないで左右されていきましたが、今年については雪が降る降らないのももちろんありますし、もう一つはそこに見えるスキーの観光客の皆さんの気持ちの問題がどうかという事があります。例えばゴルフについては今年はゴルフは今までやらなかった若い子たちまでやるようになってゴルフ場が流行っているという事です。同じようにスキー場も流行ってくれば、沿線の飲食も流行る、ガソリンスタンドにも立ち寄るといふ郡上の特性もあるという説明もさせていただきました。最後に向こうの方からとりあえず10社から話を聞きますが、意見とか提案がある方が見れば、その会社まで県の方から来ますので、どうか意見を聞かせて下さいという事で、非常に意見を求めて見えました、この会員の方々につきましても、きっと意見を持って見える方が見えると思いますので、県へ要望をしていきたいと思っております。私の意見を！という事があれば、是非私の方まで県の方から来てもらいたいと手を挙げていただければと思います。

会員卓話

ニコニコBOX委員長 旭美香君

先月 石徹白さんから話の内容はなんでもよいという事で、卓話の依頼がありました。どんな話が良いか色々考えましたが、今こういう時代は国際的感染症 新型コロナウイルスの流行によりますますパンデミックの中、人々の生活が一変しております。日本はそれにくわえまして、7月は長雨、8、9月は酷暑が続きました。コロナ禍の中では何かと人々を孤立させ、気が滅入る日が続いているように感じられておられる方も少なからずおられると思っております。毎日繰り返される放送で批判的な報道や感染者数の増減に一喜一憂する日々、最近では自らの尊いお命をご自身で殺める

ような若い方も高齢の方も、自殺という悲しい報道も続いておりますので、コロナの事、もしくはロータリーは国際クラブでありますので、私は夫の仕事の関係で海外に居住していたことがございまして、ロンドン駐在ですが1990年から94年、2000年から2005年までロンドンに住んでおりました。一度目のロンドン赴任の時は、日本とはかなり価値観が違うというのは、日本では物でも家でも新しいものが良い、良質とされがちにある傾向のある中、イギリスの方々には本でも物でも食器でもすべて古い物がとても大事にされ、一般家屋もほとんどが100年以上経っている建物ばかりで、そういう物に価値があるとされていました。2度目の駐在の時は、もちろん歴史を大切にされる価値観、国民性は変わっておられないのですが、ガーファも台頭し始めておりまして、食事もモダンブリティッシュというものが大変取り上げられておりまして、1度目の赴任生活の時と違い、人々の暮らしも傾向も違っておりました。2度とも当時私はロンドン日本人婦人会で役を色々やらせていただき、多くの事を学ばせていただきました。その時の事を話そうかと思いましたが、やはりロータリークラブの会員になりまして、参加させていただきまして、とても印象に残っている事がありますので、その話をさせていただきます。

先々週のクラブフォーラムで清水委員長も言われておりましたが、このクラブに参加させていただいている中で、意義のあることは自分を向上させるという事が一つの側面だと思っております。そういう気持ちの中でメンバーの皆様の感性と受け止め方、実行力がすごいと思う中で時々使っている言葉、「これからがこれまでを決める」この言葉を親しんで使われていることに驚きと言いますか、大切にさせていただいていることに嬉しくありがたく感じております。お一人お一人受け止め方はそれぞれだと思いますが、皆様ご存じのように真宗大谷派、僧侶の藤代聡磨氏の言葉です。東本願寺の掲示板にもよく書かれておられます。普通に考えますと一般的には「これまでがこれからを決める」それが普通です。真宗大谷派ではやはり逆説と言いますかパラドックス、とても多いのですが、これからがこれまでを決める、過去現在、過去があつて今があつて、未来がくるのは普通、過去は変えられない。その続きが未来、未来イコール一瞬一瞬の続き、過去の続きですけれども、起きてしまったことはどんな過去でも失敗悲しみの過去であっても、誇らしい過去であっても、これからその方の生き方や選び方、選択によってこれまでの人生を決める、こういう言葉を違和感なくすぐに受け止められていただいているメンバーの方々と一緒にさせていただけることがとてもありがたいと思っております。私は大学では普通の学部を出ておりますので、僧侶になる勉強と言いますか修練は真宗学院で修めました。色々な教科がございまして、その中で仏教学がありまして、まず最初に空と書いてくう、空思想を教えてください。空というと禅宗の方が語られるので「浄土真宗なのになぜ空なの」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、親鸞聖人が書いてくださった正信偈の中に七高層、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・源空樹・天親の筆頭の龍樹大使は空思想をお説き下さった最初の方でございまして。お釈迦様が教えて下さった縁起の道理を空思想によって解明され、大乘の仏教を起こしてくださいました。私は空というと、時には無という所を強調されてしまうかと思っておりますが、そういう事ではなくて、私たちが教えていただいたのは、例えばこれはマイクであつてマイクではない、これは携帯であつて携帯ではない、それは何であるかという事が固定概念から解放する、そういう事によって真実を見ていくというような内容、とても深い深い意味がありますので、今話すには時間がありませんが、自分は勉強をして参りましたので、これからがこれまでを決めるという言葉は私の中ではとても獲得しやすいですが、皆様はその言葉に全く違和感なく受け入れられていらっしゃる所がものすごくありがたくて、これまでがどんなに素晴らしくても、どんなに悲惨でも過去は良くなるのも悪くなるのも、また良いか悪いか別にしまして、どんな受け止め方の出来る未来があつたとしても、これからどんなに嘆いても思いを寄せても過去は変える事は出来ないけれど、それまでの事実、起こった事の流れを全部、今からこれからが大事だという事。未来は老若男女問わずすべての方々を持つ未来でございまして。私は子供の頃に失敗とか嫌なことがあると父に「何かこういう事がなかったら生き良かったのに」とか「もしこうだったら、ああだったら」というようなことを言っていたんですが、その時に父は「仏教にはそんなことの“もし”とかいう事はないんだよ」という事をいつも教えてもらっていました。老若男女問わず すべての方々を持つ未来、確かに今までの自証や経験はすべてこれからが決めます。これまでを生かすも生かさないもどうするかはこれから次第、全てに共通する素晴らしい前向きな言葉を親しんでいただいて、またこういうクラブに参加させていただいており、本当にありがとうございます。拙い話で恐縮ですがこれで終わります。ありがとうございました。

出席委員長 清水英志君

今日は奉仕について、自分の考えを体験を踏まえて話したいと思っております。僕は郡上長良川ロータリークラブに入会させていただいて4年目になりますが、やっと流れや活動内容が把握できてきましたが、まだまだ成長していければと思っております。

ロータリークラブの前に郡上青年会議所に入っておりまして、31歳から40歳まで入っていました。内容的には少し違う所もありますが、似たような奉仕活動をしてきました。遡る事30年前、僕が17歳の時の話ですが、その時は大垣の専門学校に行っておりました。そこでも大変恥ずかしい話ですが警察の方にお世話になりまして、「またお前か」という事で家庭裁判所の方に出頭した時に、保護観察処分という刑を処されまして全う致しました。その時の保護観察員の方の話なんです、その人は良い人で本当に助かったなと頭が上がらない話ですが、その人が当時、朝道に立って、今でいう見守り隊みたいな活動をしていました。それが終わったらゴミを拾って終了という活動だったんですが、それにお前も来いという事で参加することになりました。その人が独自の考えで誘ってくれたのか、刑の一環として組み込まれていたのか分かりませんが、最初は若かったという事もあって恥ずかしいし、自分と似たような高校生もいるのでかっこ悪いなと思いつつ、半分隠れたくらいにして作業をしていました。毎日行って、その方だけでなく何名かいましたが、その人たちも話をしてくれたり、登校している子供達や通勤の方が挨拶をしてくれたり、時にはしゃべりかけてくれたりして、そこで自分の道がちょっとずれたのが気づいたのですが、その時はそのくらいしか分からなかったのですが、後々思うと刑が終わる頃には恥ずかしさやいやいや行くという感じがなくて、今日も立つんだという気持ちで行っていました。後々思うと自分の気持ちで全然その場が違うというか、例えばこうしたらいいとか、あそこ危ないとか、自分にもプラスになるようなこととか考えるようになりました。色々話しかけてくれたりとかアドバイスしてくれたりとか、自分の気持ち次第で、全然その場が違うというのが、その時に感じました。それからは人にやってやるというのではなく、自分の意志で行こうとかやろうかと思いつつ、何でも活動するようにしています。しかし全部が全部その思いで出来るわけではなく、その辺は今後修正していければと思います。これはテレビか雑誌で見たか忘れましたが、世の為人の為とか、自分に少しは何となく余裕がないと思いにならないと思いますし、漢字で人の為と書いてくっつけると、人偏に為で偽、偽りの漢字になります。自分の意志で行きたいとか、やりたいと思って行動するようにしています。という事で終わりたいと思います。

3分間スピーチ

寺田澄男君

私は寺田家へ4代目の養子として昭和37年に入ったわけですが、1代目から4代目までずっと女系でありまして、義父も養子で大和の方から参っているのも私も大和から養子として参りました。実家は畑中会長の家から400m南へ下がったところで、大和同士で養子同士でしたので気が合いました。義父は自分にも厳しい、外に対しても厳しい威厳のある父親だったと思います。昭和37年、美麗麗しかった家内と結婚致しまして、私と一人娘の家内にはデレデレの父親でもありました。父親は岐阜県の警察官をしておりまして、あちこち赴任しておりましたが、私から言いますと祖父ですが、ある事故でひざを骨折しまして、足を切断しなくてはいけないというような重症になりまして、警察官を辞めました。当時は自分の出身地へは赴任できなかったようですが戻って親の面倒をしておりました。祖父の足も治りまして、不自由な生活をしていたようですが、今度は岐阜県職員を受けまして、県職員になり、定年まで勤めました。55歳の時に大腿骨を折るという大きな怪我をしまして、私も苦労しましたが、父親も苦労しました。回復はまず不可能で、正座は無理だろうと野尻整形の先生に言われたんですが、正座をしたいという事で、涙を流しながら正座の訓練をしておりました。とうとう座るようになりまして、よほどのことがない限り夕方6時に正信偈を挙げておりました。それを見て母親は、「お父さんは信心がないんや、ただ挙げていただけだ」、ということ言ったそうでありまして。そしたら親父が「何をいっとるんや、腹式呼吸で健康法でお経をあげてるんや」、と家内にいったそうです。退職してから自治会長を6年、農協の合併の時に組合長を理事を入れて8年やりました。高等学校を出たくらいでよく頑張ったんと思いますが、大変な努力家でありまして、尋常高等小学校、尋常高等中学校までは義務教育のようですが、2年は進学校という事で、そこを出たようで、警察官と言ひ、県職員と言ひ、自治会長と言ひ、理事長と言ひ本当に活躍したんと思います。101歳まで生きたわけですが、90日間白鳥病院でお世話になりました。母親は満94歳で2年前に亡くなりまして、3回忌をしなくてはいけない日に、どうしても参りたいというんですが、12月の第1土曜日の法要でしたので、寒いから肺炎になるからダメだというと、医院長から許可をもらってるから何とでも参りたいというもんですから、ちょうど私の長女と妹が参っておりましたので、私たちが面倒を見てるからお父さんは法要の面倒を見てくれと言われ、安心して法要にあたったわけですが、途中から電話がかかってきて、今日は参りたくないという連絡を言われホッとしました。お斎の一部を持って病院へ娘たちが行ったんですが、昼過ぎに妹の方にうちに帰って正信偈の経本を持ってこいと言われ、早速帰って正信偈の本を持っていくと、入れ歯を外しながら最後まで読んだか分かりませんが、口を動かしながら経本を持ったままぼっくり亡くなったという事で、本当に劇的な死に方で、こんな死に方はなかなかできないと

思います。おふくろが亡くなる時、ちょうど息を引き取る時、うちに携帯用のリンがあるから持って来いと言われ、親父がそれはちょっと病院ではやばいと言って看護師に聞くといいですよと言われ、極楽浄土へ行くための道か知りませんがリンをたたくんです。これにはびっくりしました。もっと話したいことがあります、これで終わります。

ニコBOX

ニコBOX委員会 川島伸弘君

畑中君 今日インフルエンザ予防注射打ってきました。皆さん早めに行きましょう。

石徹白君 旭さん、清水君、卓話ご苦労さまでした。とても良かったです。

寺田澄男君 2日掛かりでタマネギ400本植えました。くたくたですが、それより来年の収穫時が心配です。

松森君 仕事で色々とお出歩くのですが、今日はあちこちでマスクをするのを忘れ、「わっ、しまった」と思いつつ、ついついそのままになってしまいます。気をつけたいです。

和田良一君 急に寒くなりました。明日から九州へ旅行です。

美谷添里恵子君 秋も深まり、山々が色づいてきました。今年も残すところ2ヶ月ほどになりました。皆様、秋の夜長を楽しんでいますか？

井俣君 GO TO使うと安くホテルに泊まれてうれしいのですが、コロナが怖くて車で2、3時間の範囲しか出かけられません。早く自由に旅行したいですね。

佐藤君 ものづくりマイスターの授業で、可児の東明小学校へ行き、和裁と浴衣の着付けの指導をしてきました。とてもまじめで素直な子供達で、熱心に話を聞いてくれました。「和楽居室（わらいしつ）」という和室のある環境の良い学校でした。

藤代君 30日のIDMに欠席します。申し訳ありません。旅行へ行っています。

山口君 会員卓話楽しみにしています。

同文 三島勲君、羽土君、小島君、寺田正実君、清水君、和田智博君、宮川君、川島君

次回例会予定

11月11日 加賀中央RCへの交換卓話

11月18日 スポーツ例会

11月11日 郡上八幡RCとの合同例会

11月25日 外来卓話

出席報告

出席委員会 島崎秀樹君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率	出席免除
第2010回	32名	24名	7名		77.42%	1名
第2011回	32名	24名	7名		77.42%	1名

例会日：毎週水曜日 午後6時30分（6～9月 午後7時～）

例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター 岐阜県郡上市白鳥町白鳥47番地12

TEL. 0575-82-3822 FAX. 0575-82-5191

URL<http://www.guJonagaragawa-rc.com/> E-mail gsrc@abelia.ocn.ne.jp

発行 クラブ会報委員会